

令和6年度 後期高齢者の適正服薬支援事業にかかる三師会合同研修会 開催要領

1 目的

本県の実情に即した適正服薬支援体制を構築し、重複服薬等による薬物有害事象等の発生防止による被保険者の健康の保持増進のために、県内での動きやポリファーマシーの予防等について、医療機関や行政・介護関係者等の関係者間で情報共有を図ることにより、適正服薬に係る地域での連携体制づくりや支援の一助とする。

2 主催・共催

主催：鹿児島県後期高齢者医療広域連合

共催：鹿児島県医師会、鹿児島県歯科医師会、鹿児島県薬剤師会

3 日時

令和6年10月1日（火） 19:00～21:00

4 会場・方法（県医師会の機器を借用し、県薬剤師会の ZOOM アカウントを使用）

鹿児島県医師会館 3階中ホール1

来場（100人まで）及びインターネットオンライン中継のハイブリッド方式で実施

5 対象

医師、歯科医師、薬剤師、看護師、保健師、介護支援専門員等高齢者の服薬支援に関わる専門職等

6 会次第

- | | |
|---------------------------|-------------|
| (1)開会（挨拶） | 19:00 |
| (2)説明「適正服薬支援に係る取組について」 | 19:05～19:20 |
| 鹿児島県後期高齢者医療広域連合 業務課保健事業班 | |
| (3)取組報告 適正服薬支援に係る県薬剤師会の取組 | 19:20～19:40 |
| 鹿児島県薬剤師会 | |

(4)講演：「地域におけるポリファーマシー対策の推進に向けて」 19:45～20:55

講師：秋下 雅弘 先生

地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター センター長

（講演60分、質疑応答10分）

<内容等>

- ポリファーマシー対策に向けた国の動き（指針策定や政策等）や他県での好事例
- 高齢者医療におけるポリファーマシーの特徴
- ポリファーマシー対策を進めていくためのコツ
- 地域においては多職種がどのように連携して服薬支援を進めていけばいいのか 等

※ 講師は厚労省の高齢者医薬品適正使用検討会の構成員として、中心的立場で「高齢者の医薬品適正使用の指針」を策定された。

※ 今年度は、鹿児島まで来場され御講演くださいます。

(5)閉会

7 その他

- ・広域連合から各団体会長宛てに案内し、各団体から会員へ周知及び来場希望者の集約を依頼。